

森のたより



2021年1月発行
発行者：流山市立森の図書館
指定管理者：株式会社すばる
住所：流山市東深井991
電話：04-7152-3200

あけましておめでとうございます 本年も森の図書館をよろしくお願い致します。



牛は昔から食料としてだけでなく、農作業や物を運ぶときの労働力として、人間の生活に欠かせない動物でした。勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物として十二支に加えられたようです。また「紐」という漢字に「丑」の字が使われおり「結ぶ」や「つかむ」などの意味を含めたとも考えられています。

牛は神様！？

学問の神様の天神様（菅原道真公）をお祀りする天満宮には、丑（牛）の像が置かれています。



承和12年乙丑6月25日、すなわち丑年に菅公が生誕したというので、牛が天神に付会された。

『天満宮』竹内秀雄／著
吉川弘文館 1996年
p1～4 「天神と牛」
ISBN：4642066365

うずくまっている牛の石像（石仏）には、諸病平癒の力があると考えられた。この撫牛信仰は、現在では痛み所ばかりではなく、健やかにしたり強くしたい所を撫でるようになった。

『動物信仰事典』芦田正次郎／著
北辰堂 1999年 p93
ISBN：4892872296

道真が死去し、埋葬しようと牛車を進めるが、途中で牛がどうしても動かなくなり、仕方なくそこを墓所（安楽寺）とさだめ埋葬する『北野天神縁起』の図があり。

『天神さまの起源』田中隆昭／監修
勉誠出版 2001年 p29
ISBN：4585090681

真の自己をもとめて

古代アイルランドの伝説

「牛鬼」載ってます

乳牛の育て方

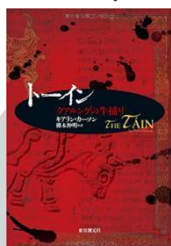


十牛図

188

著者：上田閑照
柳田聖山

出版：筑摩書房 1992



トーン

933カ

クアルングの牛捕り

著者：キアラ・カーソン
訳：榎木 伸明

出版：東京創元社 2011



すごいぜ!!

388.1

日本妖怪びつくり図鑑

著者：木下昌美
絵：しげおか秀光

出版：辰巳出版 2019



しあわせの牛乳

牛もしあわせ!

641.7

おれもしあわせ!
著者：佐藤 慧

出版：ポプラ社 2018

